

## 調査結果4 小・中学校における取組

No	取組内容	小学校		中学校		達成率
		有	無	有	無	
①-1	全校で一斉読書の実施	7	0	3	0	100%
①-2	図書委員会児童による業間休みの本の貸出	7	0	3	0	100%
①-3	ボランティアによる読み聞かせの実施	3	4	-	-	43%
①-4	教員による読み聞かせの実施	6	1	-	-	86%
①-5	児童による読み聞かせの実施	5	2	-	-	71%
①-6	読書感想文コンクールへの参加 (夏季休業中の課題として)	6	1	3	0	90%
②-1	図書館と学校が連携して作成した推薦 図書リストの配布	6	1	2	1	80%
③-1	学校図書館の資料整備など、必要に応じた ボランティア活動の推進	5	2	2	1	70%
④-1	夏休みすいせん図書の購入や選書の機会を 設け、適切な蔵書管理を行う	7	0	3	0	100%
④-2	学校図書館教育支援員や図書ボランティア による学校図書館の環境の整備	7	0	3	0	100%
④-3	学校図書館教育支援員による学校図書館 を活用した授業の支援	7	0	1	2	80%
⑤-1	多くの本を読んだり読書の幅を広げたり するような推薦図書リストの活用	6	1	3	0	90%
⑤-2	市立図書館からの団体貸出やテーマ貸出の 積極的な活用	7	0	2	1	90%
⑤-3	市立図書館を訪問(小学校)、ワーキングウ ィークで図書館業務を体験(中学校)	5	2	0	3	50%
⑥-1	学校図書館教育支援員を配置し、司書教諭・ 図書ボランティアと連携体制を構築する	7	0	3	0	100%
⑦-1	児童の読書活動推進、また、よりよい学 校図書館運営のための研修の実施	6	1	2	1	80%

### ※上記以外の実施事業

- ・ 図書委員によるイベント・・・年3回、本の内容に関わるクイズや教室棟へ本を移動した移動図書館等を実施。
- ・ 図書だよりを毎月発行・・・月1回、図書委員や先生からのおすすめ本紹介、季節に合った本紹介等。
- ・ 図書委員によるキャンペーン・・・年2回、図書室利用増加を目的に借りた冊数のスタンプ数によりしおりを配布。
- ・ 読書月間(10月)・・・新刊の紹介、読み聞かせ、ブックトーク。
- ・ 読書登山・・・年間20冊を目安とし、一人一人の読書量を可視化して表彰。
- ・ 図書委員による新刊レビューやおすすめ本紹介・・・年4回、図書委員によるおすすめ本等の感想を書き、掲示。
- ・ 図書委員会児童によるポスター発行・・・年5回、新着本紹介、キャンペーンのお知らせ等。
- ・ 図書支援員による図書だよりの発行・・・年2回、新着本の紹介。
- ・ 図書委員による放送、ポップ作成・・・年3回、図書委員おすすめ本の紹介。
- ・ 図書委員会によるキャンペーンの実施・・・年1回、10～12月あたりで読書キャンペーンを実施。
- ・ 長期休みの特別貸出・・・年2回、夏休みと冬休みは通常よりも多く貸出冊数を設定しています。
- ・ 「やさしい本棚」キャンペーン・・・年1回、図書委員が本が苦手な人でも気軽に読める本を紹介した。

#### 〈進捗状況〉

児童に読書を習慣づけるため、一斉読書や学校図書館の環境整備は、全校で実施されている。

#### 〈課題〉

達成率が50%を切っている項目がある。No①-3ボランティアによる読み聞かせの実施は、コロナ禍で実施を見送った学校が多かったことによるものである。

#### 〈今後の対応〉

市内小・中学校の全校児童・生徒に、それぞれわらび電子図書館の学校用IDを配布し、学校での朝読書の時間等で活用いただけるサービスを令和4年11月1日より開始した。今後は、より魅力的なコンテンツを導入していくことで、更なる充実を図っていく。